

## 区連会 資料 4-1

令和8年4月17日

各自治会町内会 会長 様

旭保護司会 会長 黒須 正明

「保護司会だより旭」発行と送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

旭保護司会につきまして、日頃より並々ならぬご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この度、保護司会の活動状況などの一環をお知らせいたしたく「保護司会だより旭第46号」を発行しましたのでご送付申し上げます。

何卒、ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

1 送付部数 : 各 1 部



旭ふれあい区民まつり  
ばれっと旭前にて  
(令和7年10月19日撮影)

施設見学  
横浜少年鑑別所前にて  
(令和8年2月19日撮影)

# 保護司会だより 旭

発行所 旭保護司会広報部  
発行責任者 会長 黒須 正明  
事務局 旭区社会福祉協議会  
旭区鶴ヶ峰 1-6-35 ばれっと旭  
印刷所 小松印刷株式会社

## 功労者表彰

(敬称略)

第七十三回横浜市更生保護大会に於いて、次の方々が表彰されました。おめでとうございます。  
表彰日 十月三十日付

横浜市会議長表彰

武部由美子

第七十六回神奈川県更生保護大会に於いて、次の方々が表彰されました。おめでとうございます。  
表彰日 十一月二十六日付

法務大臣表彰

白濱 泰子

全国保護司連盟理事長表彰

杉山 良美

関東地方更生保護委員会委員長表彰

新川 武雄



関東地方保護司連盟会長表彰

佐藤 公紀

澁谷 薫

神奈川県知事感謝状

伊佐地誠嗣

伊藤喜代子

横浜保護観察所長表彰

瀬戸 卓

道ノ下行哉

向井 秀人

神奈川県保護司会連合会長表彰

栗山小桜子

## 社会貢献活動に参加して

保護司 土岐 典子

十月三日、横浜保護観察所に集合して、みなとみらい21地区清掃の社会貢献活動を行った。  
当日一緒に活動を行う予定だった青年は残念ながら不参加だった



社会貢献活動

が、保護観察所周辺歩道の清掃は観察所職員、旭保護司会より二名、また旭区更生保護女性会より会長他一名、計六名での実施となった。清掃活動は声をかけ合い、ゴミを拾いながら分別を行うなど一つの目的に向かって活動するため、短時間でも参加者が連帯を感じ、有意義であった。保護観察対象者に社会とのつながりを感じる一助に体験してほしいと思った。

## 自主研修会を開催して

保護司・薬物乱用防止指導員

石村 利幸

昨年十一月十九日、「違法薬物の基礎知識と情勢」をテーマに自主研修会を開催しました。



自主研修会

アンケートの結果、概ね好評でしたが薬物事犯対象者への対応について、その方法を教示して欲しいとの意見がありました。

これは私自身非常に難しい問題であり、これと言った答えはないと思います。薬物に手を出すと、どのような結末になるのかは、おのずと分かっているはずですが、「人を見て法を説け」という諺のとおり、対象者に応じた指導・助言が必要で。

それには、対象者の実態把握を徹底するとともに、保護司自身のこれまでの知識・経験を生かした良好なコミュニケーションを構築し、「話を聴いてあげること」が大事ではないかと思えます。

## 編集後記

今までにない夏の暑さや冬の寒さはもとより、地震や台風の災害が頻発しています。平時より対策と準備をと思い、多少の非常食と水は用意しています。何よりも安心できる我が家で、普通の生活ができることを噛みしめている今日の頃です。

保護司面接に来る人たちが、ホッと息つける居場所を大事にしたいと願っています。(伊藤 記)

## 少年たちの立直りへの取り組み



横浜少年鑑別所 所長 岩崎 智之

平素から、当所の運営につきまして、多大なる御理解、御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

御承知のとおり、少年鑑別所に在り中の非行のある少年たちは、心理検査や鑑別面接等を受ける一方で、少年たち自らも課題等を通じて自分の問題行動や非行について振り返り、今後の生活等の在り方を考えたりしながら、家庭裁判所での審判の日を迎えます。

所内で規則正しい生活を送りながら、一人でじっくりと考えていくなかで、徐々に心身の健康を取戻し、健全な生活志向を高めていくことが多いように感じており、今後の生活で実行に移してくれることを期待しています。ただし、決意はしても、少年の特性や成育環境、交友関係等の問題があって、生きていくうえで、いろいろな誘惑や困難事、危機場面に直面することも少なくなく、そうした状況



よこはま法務少年支援センター  
(横浜少年鑑別所)

# 「保護司の使命を考える」



旭区連合自治会町内会連絡協議会  
会長 林 重克

日本における犯罪状況は、平成二十七年以降、令和三年まで戦後最少を更新し続けていましたが、令和四年以降はやや増加に転じているものの、全体としては比較的安定した状況にあるようです。しかし検挙人員の約半数が再犯者が占めているなど、安全安心な地域を実現するうえで、再犯防止対策の充実が重要な課題となっています。

そういう中で、保護司の皆さんの使命は大変大きな役割となつていきます。「もう二度と犯罪はしたくない」と回答した人は、初入者で九四・五%。再入者で九三・六%に上るそうです。出所後五年以内で三人に一人が、十年以内では半数近くが刑務所に戻っているそうです。

受刑者の再入率は、保護司等による指導や支援が行われる仮釈放者と、満期釈放者とは大きな差

があります。再犯防止対策推進のためには、保護司の活動は欠かせません。対象者を支えるという点で大きな意義を持っています。無償ボランティアという形態でありながら、更生保護の最前線で活動する保護司の存在なしでは、多くの仮釈放者や保護観察者を適切に指導・支援することは難しいことです。

自治会町内会としても、保護司の活動の支援と補充に鋭意努力してまいります。



薬物乱用防止教室

# 小学校における薬物乱用防止教室の開催



保護司・薬剤師 向井 秀人

昨年十二月十二日に万騎が原小学校において薬物乱用防止教室を開催いたしました。対象は六年生二クラスに各四十五分です。私は以前から学校薬剤師としてこの活動を続けていました。学校薬剤師とは、月に一回学校を訪問して子供たちが一番長く生活する校内の環境検査や水道やプールの水質検査などが役割です。他にも保健委員会への参加・正しい薬の使い方

教育・食中毒対策・そして薬物乱用防止教室などに係わってまいりました。子供たちへの薬物乱用防止教室で伝えることは、「薬物に近づかないこと」「自分を大切にすること」です。親から授かった自分の身体を自らの手で粗末にしないことが教育の根幹であると思います。薬物の怖さ、興味から一度でも使ってしまったら自らの力では抜出すことができない末路がやってくることを想像させ、逆に未来の夢ある人生に思いを馳せる時間になればと思いを話しています。今回は保護司と、実際に薬物に手を出してしまい苦しんでいる方が身近なコミュニケーションにも存在することを話し、別世界の話ではないと伝えることができたのは大変有意義であったと思います。保護司活動のなかで、このような教室開催が必要と思われた時にはお気軽にお声をかけてください。

# 旭公会堂で映画上映会「九十歳。何がめでたい」



横浜市旭公会堂館長 猪鼻 昌子

三月四日に旭公会堂、旭区更生保護女性会様、旭保護司会様、旭区社会福祉協議会様と初めて協働開催という形で避難訓練&上映会を開催いたしました。当方の趣旨にご賛同いただき無事に開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

さて上映した映画は「九十歳。何がめでたい」。くすつと笑えて、ほろつと涙する。何気ない毎日、いつもと変わらない、大嫌いな、面倒くさい、長生きするって大変なのね。こんなところから始まります。劇中九十歳設定を演じる草笛光子さんも実年齢九十歳。演じているがどこかリアルでイリュージョンのような役柄を体当たりする姿は、九十歳の底力を見た気がします。

時代に合わせてアップデートしていく生活はもちろん必要。デジタルでは伝わらない編集者との滑稽なやりとりが何度もあり、原稿を書き始めたら機嫌が良いことに気づく。のんびりしようと思わず、



世の中に反応することが元気の秘訣かもしれません。感想は皆それぞれあると思いますが、笑えるところあり、犬のくだりは我が家の犬と重なり思わず涙。主人公のようにコミカルに元気に年齢を重ねていきたいと強く願う映画となりました。今回は一部で避難訓練、二部で上映会を開催いたしました。令和八年度も気軽に参加できる講座や上映会を企画しています。旭公会堂スタッフ一同、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

# 旭ふれあい区民まつりに参加して



旭区更生保護女性会 荒川 孝子

「第三十五回旭ふれあい区民まつり」に、旭保護司会の皆様と令和七年十月十九日(日)、「ばれつと旭」に午前十時に集合し、社会を明るくする運動のPR活動を実施しました。更女参加者七名、更女会長は式典に出席。今回配布した啓発グッズの数量が少なく、来年は数を増やして多くの区民の方にお渡しできるとよいと感じました。ちなみに横浜市青少年指導員統一行動標語「子供の笑顔は社会のたから」のイラストは、明るく素敵な一枚でした。

旭区の伝統ある「区民まつり」は年一回、旭区役所周辺(鶴ヶ峰公園・鎧の渡し緑道等)で開催されます。「旭ふれあい区民まつり」実行委員会主催、旭区役所の共催。当日は朝から大人も子供も大勢の人で賑わい、どの会場も盛況でした。旭区社会福祉協議会のバルーンアートコーナーも人気で大変忙しそうでした。盛り沢山な子

供向けイベント、高齢者が立寄る健康フェア、ミニ商店街は行列ができ、親子連れの方が目立ちました。なお、当日の来場者数は約四万人とのことでした。旭区更生保護女性会としても、来年度より愛のあられ・ビスケットの販売を復活し、「区民まつり」に参加できることを希望いたします。末筆ながら、「旭ふれあい区民まつり」の益々のご発展をお祈り申し上げます。



PR活動のようす